

# 「絵で伝えよう！わたしの町のたからもの」絵画展

## 入賞作品カレンダー贈呈式 開催

「絵で伝えよう！わたしの町のたからもの」絵画展は、世界遺産条約の理念の普及とともに、日本の子どもたちが世界遺産のみならず、地域の文化や身近な自然環境のすばらしさを見つめ直し、それらを未来へと引き継いでいく気持ちを育むことをねらいとした事業で 1998 年から実施しています。

2004 年度は全国 47 のユネスコ協会が主体となり、それぞれの地域で「わたしの町のたからもの」をテーマに小・中学生より絵画作品を募集し、地域での展示や表彰式を行い、全国の応募総数は約 13600 作品にもものぼりました。

また 2004 年度からは、あいおい損害保険株式会社共催として参加し、各地から選ばれた優秀作品（131 作品）を平山郁夫特別審査委員長（ユネスコ親善大使、東京芸術大学学長）らが全国審査を行い、優秀作品（10 作品）を選考、3 月 29 日には受賞者を東京に招待し、全国表彰式を行いました。

また、愛・地球博（国連パビリオン館内）では 6 月 12 日から 3 週間、これらの作品が展示され、多くの来場者を魅了しました。

この度、あいおい損害保険株式会社のご厚意により全国審査優秀賞 10 作品を集めた 2006 年度のカレンダー 3500 部を寄贈していただくことになり、その贈呈式が 10 月 31 日に日本ユネスコ協会連盟で行われました。

あいおい損害保険株式会社瀬下明代表取締役会長（写真左）は「是非、全国のユネスコ協会や受賞した子どもたちなどに配付して、有効に活用してもらいたい」と述べ、当協会連盟野口昇理事長（写真右）にカレンダーが手渡されました。



今後カレンダーは、全国のユネスコ協会や全国審査優秀賞受賞者に配付される予定です。